

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-109	高等学校	公民科	公共	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	公共-707	高等学校 公共		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

グローバル化や情報化、少子高齢化などの社会の急速な変化を捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる公民科の教科書を目指して編修した。特に、公共空間のなかで主権者及び自立した契約主体として求められる、①さまざまな課題を自らの問題として正対する意欲・関心と、②その課題に対して自分なりに判断していくために必要な資質・能力を、確実に身に付けることができるよう、留意した。

## 2. 編修の基本方針

●教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

### (1) 公共的な空間の形成者として社会に対する関心を高め、課題に対する理解を深める教科書

- ・ 社会に対する関心を高めるため、現実社会と学習項目をつなげる導入事例を設置したり、本文記述に具体例やたとえを用いてわかりやすさを追求したりした。
- ・ 基礎基本を着実に定着できるよう、見開きの知識を習得・活用できる「学習課題」、「確認」、「活用」の問いを設置した。
- ・ 立憲主義や法の意義、政治と権力、市場経済のしくみなど、概念理解のためのページを充実させた。

### (2) 公共的な空間の形成者として社会に参画するための思考力・判断力を育成する教科書

- ・ 教科書全体を通して、公共的な空間における、他者との関わり、社会参画、キャリア形成と働くことの意義、多様性の尊重を意識して編修を行った。
- ・ 公共的な空間における主権者として必要な資質・能力を育成することができるよう、現実社会の課題から思考力・判断力を養う特設「現代社会の諸課題」を設置した。
- ・ 公共的な空間における、自立した契約主体、主権者として必要な社会生活に役立つ実践的な知識を習得できるよう、特設「How to」を設置した。

## 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>第1部 私たちがつくる社会</b> 第1章 社会の中の私たち 第1節 青年期と社会参画 第2節 宗教・思想・伝統文化と社会	●働くことの意義と社会参画に関する内容を充実させて、勤労を重んじる態度と自立の精神を養うことができるよう配慮した(第2号)。	p.6-7,18-23
	●青年としての生き方やキャリア形成を考える場面を数多く設置し、主体的に社会に参画する意識を養うことができるよう配慮した(第3号)。	p.10-23
	●男女共同参画社会基本法や男女雇用機会均等法などを扱い、多様な性のあり方まで含め、男	p.14-15

	<p>女の平等について幅広く学習できるように配慮した（第3号）。</p> <p>●日本の伝統文化について、身近な年中行事や通過儀礼、伝統芸能と関連させて具体的に学習できるようにすることで、伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度を養えるよう配慮した（第5号）。</p>	p. 26-31
<p>第2章 思想から学ぶべきもの</p> <p>第1節 倫理的な見方・考え方</p>	<p>●古代ギリシャから現代に至る先哲思想を用いながら、「よく生きる」ための指針を各所に示すことで、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。</p> <p>●義務論や功利主義、徳倫理学などの思想を具体的な場面で考えさせる事例を充実させ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画できるよう配慮した（第3号）。</p> <p>●思考実験の題材として、生命倫理や環境問題を取り上げ、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。</p>	<p>p.32-43</p> <p>p.36-37, 40,41,42-43</p> <p>p.40,41,</p>
<p>第3章 私たちの社会の基本原則</p> <p>第1節 社会の基本原則と憲法の考え方</p>	<p>●近代立憲主義の考え方を重点的に扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第3号）。</p> <p>●男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法を取り上げ、男女が平等な社会を目指すことで男女の平等や自他の敬愛と協力を重んじる態度を涵養できるように配慮した（第3号）。</p> <p>●国際的な人権保障に関する扱いを充実させて、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第5号）。</p>	<p>p.44-49</p> <p>p.52-53</p> <p>p.46-49, 62-63</p>
<p>第2部 社会のしくみと諸課題</p> <p>第1章 私たちと法</p> <p>第1節 法の意義と司法参加</p>	<p>●法の意義や役割について重点的に扱い、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう配慮した（第1号）。</p> <p>●契約時の注意点や消費者保護法制について具体的な場面を用いて詳しく扱い、自立した消費者となるために必要な知識を習得できるよう配慮した（第2号）。</p> <p>●裁判員制度や検察審査会などの意義やしくみを取り扱い、主体的に司法に参加できるよう配慮した（第3号）。</p>	<p>p.72-77</p> <p>p.78-83</p> <p>p.84-91</p>

<p>第2章 私たちと政治</p> <p>第1節 民主社会と政治参加</p> <p>第2節 国際政治の動向と平和の追求</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民主主義の意義や議院内閣制のしくみなどを取り扱い、その理解を促し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう配慮した（第1号）。</li> <li>●具体的な事例や選挙での争点となりうるテーマを積極的に取り上げて、主権者として政治に参加し、主体的に社会の形成に参画できるよう配慮した（第3号）。</li> <li>●国際協力と日本の役割を扱う中で、人間の安全保障や持続可能な開発を考える事例を数多く取り上げて、生命の尊さと環境の保全の重要性を持続可能な観点から捉える態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。</li> <li>●地方自治の学習においては、高校生による地域活性化の取り組みの事例を扱うなどして、地域の伝統や文化、独自性を尊重する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。</li> <li>●日本の領域や排他的経済水域について、国際法に基づいて丁寧に説明し、また注目される地域を一つ一つ取り上げることで、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。</li> <li>●SDGsの目標達成について具体的に考えるような場面を数多く設定し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。</li> </ul>	<p>p.92-113</p> <p>p.92-113</p> <p>p.114-135</p> <p>p.100-101</p> <p>p.114-117</p> <p>p.128-129, 134-135</p>
<p>第3章 私たちと経済</p> <p>第1節 市場経済のしくみ</p> <p>第2節 豊かな社会の実現</p> <p>第3節 国際経済の動向と格差の是正</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経済の考え方や市場経済のしくみを重点的に扱い、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう配慮した（第1号）。</li> <li>●求人票の見方や具体的な労働保護立法、生活と労働のバランスを扱うページを充実させることで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。</li> <li>●職業選択や働き方について、起業やフリーランスなども含めた幅広い働き方を考えさせる場面を設け、多様な職業形態を踏まえて勤労を重んじる態度と自立の精神を養うことができるよう配慮した（第2号）。</li> <li>●外部不経済や高度経済成長の歴史を通して、経済の視点からも、環境保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。</li> <li>●企業は利潤追求に加えて、情報開示や環境問題、地域の文化活動への貢献などが期待されていることに触れて、企業活動と環境保全の両立を考えることができるよう配慮した（第4号）。</li> </ul>	<p>p.136-167, p.186-189</p> <p>p.172-177</p> <p>p.168-169, 172-177, 182-183</p> <p>p.138-140, 160-163</p> <p>p.142-143</p>

	<p>●ODAをはじめとして国際的な格差を是正する事例を数多く扱い、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した(第5号)。</p>	p.196-199
<p><b>第3部 持続可能な社会の実現に向けて</b> 課題探究学習の手引き</p>	<p>●実際に課題探究学習を通じて社会に参画する高校生の事例を示すことで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した(第2号)。</p> <p>●課題探究学習を通じて、創造的な活動を自主的に行うことで、個人の能力を伸ばし、創造性を使い、自主自律の精神を養うことができるよう配慮した(第2号)。</p> <p>●「これからの日本の発電エネルギーはどうあるべきか」をテーマに課題探究学習を展開することで、主体的に社会に参画し、これからの日本のあり方について、具体的な提案ができるよう配慮した(第3号)。</p> <p>●少子高齢化と医療制度、地球温暖化や発電エネルギーを課題探究学習の事例として取り扱うことで、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮した(第4号)。</p>	<p>p.202-203</p> <p>p.204-211</p> <p>p.204-205, 208-211</p> <p>p.204-205, 208-211, 212-215</p>
<p><b>4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書全体を通して、QR コンテンツを充実させて、教科書紙面を超えたさまざまな学びに対応できるようにした。特に、「一問一答」は基礎基本の定着を促すこと、「用語解説」「判例解説」「動く図版」「年表」「法令集」は事項に対する理解を深めること、「動画」「外部リンク」は学習意欲を高めることができるよう、それぞれ配慮した。</li> <li>● 社会生活に関わるさまざまな法令を確認できるよう、巻末資料には、日本国憲法や民法、刑法、労働基準法などの各種法令を取り上げた。</li> <li>● 色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うようにした。本文やキャプションなどの文字については、文字をはっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用した。</li> <li>● 環境に優しい素材と堅牢な造本とした。紙は環境に配慮した森林認証紙であり、かつ裏写りがしない用紙を使用した。インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするライスインキを使用した。使用期間に破損することがないように、堅牢なつくりにした。</li> </ul>		

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-109	高等学校	公民科	公共	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	公共-707	高等学校 公共		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- グローバル化や情報化, 少子高齢化などの社会の急速な変化を捉えながら, 平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる公民科の教科書を目指して編修した。特に, 公共空間のなかで主権者及び自立した契約主体として求められる, ①さまざまな課題を自らの問題として正対する意欲・関心と, ②その課題に対して自分なりに判断していくために必要な資質・能力を, 確実に身に付けることができるよう, 留意した。
1. 公共的な空間の形成者として社会に対する興味や関心を高め, 社会参画を促すことができるようにした。
    - ・ 教科書全体を通して, 現代社会の具体的な課題を積極的に扱い, 課題に対するさまざまな立場の人の意見や主張を数多く取り上げることで, 物事を多面的・多角的に考察していくことができるようにした。
    - ・ 教科書全体を通して, 高校生の活動事例を数多く取り上げ, 社会に参画することの意識を高めることができるようにした。
    - ・ 各見開きの導入部分には, 現実社会と学習内容をつなげる具体例(導入事例)を設置し, 学習内容に対する興味や関心を高めることができるようにした。
    - ・ 各見開きの本文には, 問いかけや具体例, たとえを多用し, 学習内容に対する具体的なイメージを抱けるように工夫した。
    - ・ QRコンテンツに「動画」「外部リンク」を設置し, 動画やリンク先からの情報を活用しながら学習意欲を高めることができるようにした。
  2. 主体的・対話的で深い学びを通して, 主権者として必要な基礎基本となる資質・能力を確実に身に付けることができるようにした。
    - ・ 教科書の判型をワイドな AB 判として, 図版や写真, コラム, 補足解説を充実させて, 深い学びのための知識を多方面から補完できるようにした。
    - ・ 各見開きには, 学習の見通しを立てる「学習課題」, 学習内容を振り返る「確認」, 習得した知識を用いて考察・構想する「活用」の三つの問いを設置し, 本文や図版を活用して, 資質・能力を着実に身に付けることができるようにした。
    - ・ 各見開きの本文には, 行間に図参照, 参照ページ, 憲法条文などを付記し, 本文の深い読み取りを促すようにした。
    - ・ QRコンテンツに「一問一答」を設置し, 基礎基本の定着を図れるようにした。また, 「用語解説」「判例解説」「動く図版」「年表」「法令集」を設置し, 学習項目に対する深い理解を促すようにした。
  3. 第1部では, 社会との関わりを通じて人間と社会のあり方についての「見方・考え方」を習得できるようにした。
    - ・ 特設「現代社会の見方・考え方」を設置し, 具体的な現代社会の課題を考えることで, 幸福や正義, 公正といった「見方・考え方」を習得し, 第2部, 第3部の学習に活用できるようにした。

- ・ 特設「思考実験をやってみよう」を設置し、義務論や功利主義、「共有地の悲劇」や「囚人のジレンマ」といった選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について、「思考実験」を通して習得できるようにした。
  - ・ 青年期や多様な性のあり方、キャリア形成、日本の伝統文化、先哲思想などの学習の中で、自己と他者、自己と社会の関わりについて、自ら考えることができるよう、身近な事例を数多く取り扱った。
- 4. 第2部では、公共的な空間における主権者及び自立した契約主体として必要な思考力や判断力を育成できるようにした。**
- ・ 学習指導要領で示された法や政治、経済に関する事柄や課題について「見方・考え方」を働かせて考える特設「現代社会の諸課題」を各節末に設置し、主体的、対話的で深い学びが達成できるようにした。
  - ・ 民法や刑法、消費者問題などの社会生活に役立つ実践的な知識を習得できるよう、特設「How to」を設置した。また、扱うテーマについては、カリキュラムマネジメントがしやすいように、キャリア教育、情報教育、法教育、金融・消費者教育、主権者教育に分類した。
  - ・ 特設「なるほど経済教室」を設置し、金融や国民経済計算などの抽象的な経済理論について図解や具体例を用いて解説することで、深い理解につながるようにした。
  - ・ 特設「戦後史を振り返る」を設置し、戦後の日本と世界の政治、経済の歩みを振り返りながら、習得した知識を活用できるようにした。また、歴史科目とのカリキュラムマネジメントを図れるよう配慮した。
- 5. 第3部では、この科目の学習のまとめとして位置づけて、公共的な空間における持続可能な社会の形成者としての資質・能力を育成できるようにした。**
- ・ 課題探究学習を実践できるよう、「課題探究学習の手引き」にて、課題の設定や資料の読み方、図表の作り方、レポートの作成方法などの作業手順を丁寧に解説した。
  - ・ 国際的な地球温暖化への対策、日本の発電エネルギーや医療制度のあり方など、分野を横断した具体的なテーマを扱い、第1部と第2部の学習の成果を活用できるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>第1部 私たちがつくる社会</b>			
第1章 社会の中の私たち	A (1) 公共的な空間を作る私たち	p.8-23 p.24-31	6 3
第1節 青年期と社会参画			
第2節 宗教・思想・伝統文化と社会			
第2章 思想から学ぶべきもの	A (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方	p.32-43	5
第1節 倫理的な見方・考え方			
第3章 私たちの社会の基本原則	A (3) 公共的な空間における基本的原理	p.44-69	9
第1節 社会の基本原則と憲法の考え方			
<b>第2部 社会のしくみと諸課題</b>	B ア(ア), (イ)及びイ(ア)	p.72-91	7
第1章 私たちと法			
第1節 法の意義と司法参加			
第2章 私たちと政治	B ア(イ), (イ)及びイ(ア)	p.92-113 p.114-135	7 8
第1節 民主社会と政治参加			
第2節 国際政治の動向と平和の追求			

<p>第3章 私たちと経済</p> <p>第1節 市場経済のしくみ</p> <p>第2節 豊かな社会の実現</p> <p>第3節 国際経済の動向と格差の是正</p>	<p>B ア(ウ) , (エ)及びイ(ア)</p>	<p>p.136-167</p> <p>p.168-185</p> <p>p.186-201</p>	<p>8</p> <p>7</p> <p>6</p>
<p><b>第3部 持続可能な社会の実現に向けて</b></p> <p>課題探究学習の手引き</p>	<p>C 持続可能な社会づくりの 主体となる私たち</p>	<p>p.204-217</p>	<p>4</p>
			<p>計 70 時間</p>